



わんちゃん・ねこちゃんの避妊・去勢手術について

<避妊・去勢手術で予防できること>



<避妊手術>

- ・子宮蓄膿症
 - ・乳腺の腫瘍
 - ・卵巣・子宮の腫瘍
- など

<去勢手術>

- ・精巣・前立腺の腫瘍
 - ・マーキング
 - ・マウンティングや攻撃行動
- など

個体差はありますが、6か月齢頃～避妊・去勢手術が実施可能です。

交配や出産をお考えでなければ手術をおすすめします。

手術をお考えの方はご相談ください。



* 発情回数が少ない方が乳腺の腫瘍の発生率は低くなると報告があります。

* 2か月齢頃までに精巣下降していないとき(潜在精巣)は腫瘍化する確率が高まるという報告があります。なるべく早めの手術をおすすめします。

* 野良猫さんは手術の有無を判別するための耳カットを行います。(草加市在住の方は避妊・去勢手術の費用の一部を市が補助します。)



さくら耳